

# 施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

## 1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	3 イベントなどの開催	② 施策番号	3415
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	4 豊かな地域資源を有効に活かし、さまざまな人々が行き交う観光・交流のまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 観光事業の振興		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
市民生活環境部	産業観光課		

## 2. 施策の現状把握

### [1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	観光客、市民、周辺地域の住民
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	魅力的な観光資源を活用したイベントを開催することによって、にぎわいの創出から観光振興につなげる。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	国では、観光立国の実現に向けて、観光庁が訪日外国人旅行者の目標を2020年度は4000万人、2030年度には6000万人と上方修正した目標を掲げており、今後、その実現に向けて地方と連携しつつ今まで以上に注力していく。

### [2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 泉南市における休日滞在人口 計算式	人	本市総合戦略において、地域経済分析システム(Resas)における本市休日滞在人口率を数値目標として掲げているため。
② 計算式		
③ 計算式		

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考	
① 泉南市における休日滞在人口	人	目標値	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	地域経済分析システムを活用
		実績値	130,000	130,000	130,000	—	—	
		達成率	81.3%	81.3%	81.3%			
②		目標値						
		実績値						
		達成率						
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

### [3] 施策を構成する事務事業

事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価	今後の方針	
1 観光振興事業	泉南市における休日滞在人口	人	130,000	130,000	—	15,581	24,388	22,248	A	ア	◎
2 海水浴場開設事業	来場者数	人	34,260	34,260	—	3,893	4,429	3,717	A	ア	
3 総合交流拠点施設関係事業	集客数	人	195,102	181,756	—	1,285	4,459	1,621	B	イ b	
4											
5											
6											
7											
8											
計	3					20,759	33,276	27,586			

### 3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	本市の特長を捉えた、魅力的なイベントを開催することによって、地域のにぎわいを創出し、さらには多彩な観光事業の展開につながる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	本市における交流人口は、ここ数年変化しておらず、活況を呈する関西国際空港のインバウンドを的確に取り込めていない。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	イベントの実施主体は、市民(観光協会、事業者等)であべきであり、今後も補助事業において進めることが適切。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	国の観光立国に向けた取組に沿った事業を進めるため、本市観光事業を通じてにぎわいを創出する必要がある。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	観光事業の実施主体は、市民(観光協会、事業者等)であり、とりわけ機動性を有する観光協会の人材育成と企画立案能力を強化する必要がある。

### 4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	一過性のイベントの成功を最終目標とすることなく、それをどうやって定住促進へつなげていくのかを整理し、理解しておく必要がある。	

### 5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	既存のイベントを再精査し、年間事業の見直しを行う。 産業ツーリズムを継続して内容の充実を図る。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	関西国際空港及び産業資源を活用したツーリズムを確立する。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	関空と連携した事業及び産業ツーリズムをキラーコンテンツへ仕立てあげ、観光協会の収入の柱とする。

### 6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	成果指標である休日滞在人口は現状維持の状況である。 イベントの開催・誘致については、にぎわいの創出から観光振興につながるため、情報発信や観光協会への支援等、多様な取組・展開を期待します。	